

花と緑の銀行だより

163号 2007.5



シロバナタニウツギ／富山市八尾町

| | | |
|----|------------------|---------------|
| 目次 | ・花と緑の提言……………2 | ・この人あり……………6 |
| | ・活動事例……………3 | ・技術情報……………6 |
| | ・花のアレンジメント……………4 | ・情報コーナー……………7 |
| | ・写真コーナー……………5 | |
| | | |



花と緑といのち輝くふる里を

(財)花と緑の銀行 専務理事 東 勳

みなさんの身近の生活環境に目をやってみて下さい。街を歩けば緑したたる街路樹が、交差点や道路脇にはプランターが置かれその時節の花が咲いている。また、延々と続く花街道が、小学校の校庭や地域の公園や公民館の花壇には美しく植えられた花が咲きほこっている。みなさんの周りには、四季折々の美しい花と緑で彩れていることにお気づきでしょうか。

この花や緑が私達の生活に潤いと安らぎを与えてくれています。この花や緑の手入れは、それぞれの地域の緑花愛好会の方々や学校児童、花と緑の銀行の頭取さんやグリーンキーパーの皆さんが協力して取り組んでおられます。

財団法人花と緑の銀行は、置県90年の昭和48年、潤いある真に豊かな生活環境を実現するため県民一人一人が花と緑に親しみ育てて富山県を日本一の花と緑の県にしようと、その運動の推進母体として設立されました。この時期は高度経済成長真っ盛りで効率優先、消費は美德、大量廃棄の時代でした。

一方、吉久ゼンソク、光化学スモッグなど我々の生活を脅かす公害問題も発生し、何が真の豊かさなのかの反省をもたらした時代でもありました。

花と緑の銀行では設立以来、県下各地域、職域、学校での花と緑づくり、普及啓発、緑化グループづくりに取り組んできました。市町村の校下単位に設置した地方銀行は100行でスタートしたものが今では311行に、花と緑の指導員＝グリーンキーパーは59年118人でスタートしたものが1,655人と運動推進組織は拡充され、設立から今日まで植樹された緑化木はほぼ県民一人一本の100万本を数えるに至っています。花と緑の銀行は、花と緑を使って県下各地でうるおいと安らぎのある生活環境づくりを進めてきました。

花と緑の銀行に求められる今日的課題とし

ては、一つには花と緑を通じて地域文化を創造するということがあります。古来、人間は森で生まれ、森の緑に囲まれ安全に暮らしてきた、緑は安全であると遺伝子に記録され、本能的に緑をみて安らぎを覚え安全を感ずると言われてます。今日、社会情報や人間関係情報に振り回され機械人間になっていないか、自然に対する感性や志心を呼びもどし、バランスある人間性の回復を通じて地域文化の振興に貢献していく、また、現代の都市文明はコンクリートで固められた箱物中心の街並みで殺風景で景観への配慮にも欠け人工的な素材と技術知識で築かれた頭脳活動の固まりで、そこには自然が欠けている。花と緑を使って街は安価に高齢者にも優しく、住む人に潤いを与え生活環境の充実をもたらしていく。

21世紀は環境の時代といわれている。澄んだ空気、きれいな水、肥えた土壌、豊かな緑が環境の目安を示してくれる。花と緑の活動を通じて身近の環境を学習するとともに地球環境の保全にもつながっていく。

一つのまちの美しさは、その街に住む人の表れ
生活の中に自然を感ずる空間を

草花を育てるには

ゆっくりとした時間 太陽からの恵みの光

天からの恵みの水 大地の恵み

そして育てる者の愛情と慈しみ

自然に対する愛情を呼びもどし

自然との絆の回復を

花と緑は、真に人の心の栄養であり、平和の力であります。

花と緑の銀行は富山県花と緑の新世紀プランが掲げる「花と緑といのちが輝く富山」の実現のため本店、支店、地方銀行の頭取さん、グリーンキーパーの皆さんとともに県民の方々が身近に花を愛で心が和む環境づくりに取り組んでまいります。

地域に花の拠点を

小矢部市津沢地区グリーンキーパー

すみれグループ 代表 作田 和子

はじめに

すみれグループは、平成14年に津沢校区の蓑輪地区を活動の場としてスタートしたグループです。現在は15人（うちグリーンキーパーは2人）の会員で活動しています。

津沢校区では各所で花グループが活動し、公共施設を中心に花を植えてきれいな景観を作っています。当蓑輪地区では、当初は市道の路肩や小矢部川の堤防の空き地に花を植えていました。しかし、「グループの拠点となる場所があればいいなあ。」という思いから地区内にある草むらとなっている空き地に目をむけ、そこから私たちの拠点づくりが開始したのです。

活動内容

空き地は小矢部川河川改修による市有地221m²で長方形の敷地です。“何をどうするか”“どう配置するか” いろいろ意見がでて大変でした。



当初は、自宅から花を持ちよったり、花苗代等も自分達で出し合いましたが平成15年か

ら花と緑の銀行や市からいただいたプラグ苗や花苗を育てたり、活動の補助金や、町内からの補助金をいただき自分たちの手出しも少なくなりいよいよ念願だった公園づくりがスタートしたのです。

平成17年度に花と緑の銀行より「シンボル花壇づくり事業」の採択を受け、本格的に『すみれ公園』として



活動が始まりました。本事業対象は花壇づくりにかかる材料費だけなので、グループだけではなく町内会の皆さんや子供たちと協力しながら完成させました。敷地が長方形なので奥へ進んで花壇を見もらうために通路を真ん中に設け、奥に円形の花壇を作りました。



これから

花づくりは仲間づくりだと思います。

一輪の花を見たら、“美しい”“かわいい”“やさしい”と人によっていろいろと見方、感じ方が違い、ひとりふたりと増えると会話もはずみます。そして、他の人たちにも感動を与えてくれます。花苗を育てて、土づくりをし、花苗を定植しその後の追肥、草むしり、水やり、又、秋の球根植えと一年がかりの花づくりは大変ですが、苦勞した中から花を愛し、地域を愛し、仲間も増えていきます。地区の有志の方がベンチや看板を作ってくださいました。

花の咲く頃、皆さんと集まり、楽しいイベントができたらしめたばかりの花壇作りですが、夢を大きく膨らませています。これからは、地域の方々と楽しい交流の場所になってくれるように努力していきたいと思っています。



花のアレンジメントを始めるにあたっての 基本的な知識や技術

(社)日本フラワーデザイナー協会富山県支部

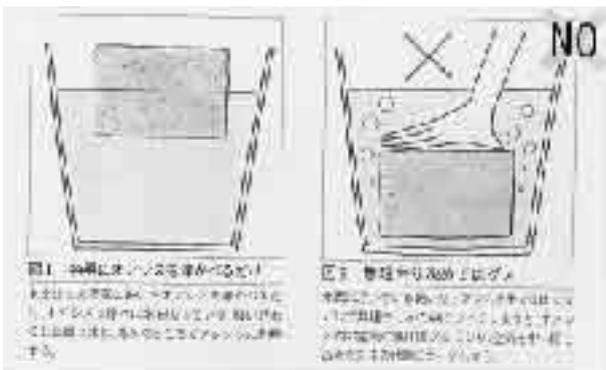
前支部長 松永千里

花は自然からの贈り物。その美しい形と色合い、香りでどれだけの人が癒されていることでしょうか。自然のままの姿で、たった一輪あるだけでもやすらぎを与えてくれますが、テクニックを加え、デザインすることによってそのうつくしきは無限に広がります。またフラワーデザインは、職業として確立され人々の生活シーンのなかで欠かすことが出来ない存在となっています。そして最近では、個々が気軽に楽しめるフラワーデザインが「フラワーアレンジメント」の名称で親しまれてきております。ここではアレンジメントがより効率的に楽しめるよういくつかの基礎知識を2回にわたって紹介します。

アレンジメントとは……コサージュやブーケ以外のデザインの総称で花を活用して、造形（自然的と非自然的）することです。大きく分けると器を使うものと使わないものに分けられます。（今回は器を使うものとして説明します。）

吸水性フォームを花留めとして使う留意点

○吸水性フォームの正しい水の吸わせ方



*使用後は水気を絞って不燃物として処理

*一度吸水したフォームは、乾燥すると再吸水しないので、保存する場合は、水につけておきます。

○吸水性フォームを器にセットするとき

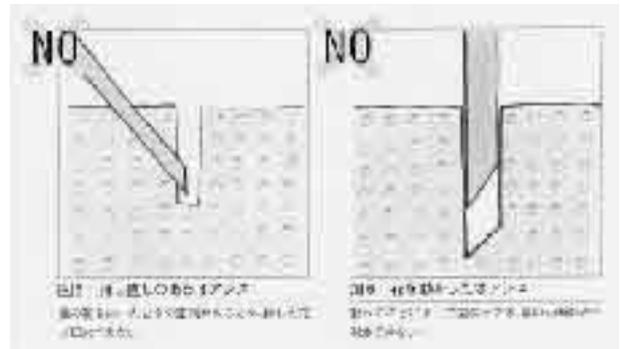
吸水性フォームを器から離れないように、またつぶさないように入れます。高さはデザインや花材の分量によって決めます。（基本は3cm前後）

*吸水フォームが器のふちから外に出ないようにセットしましょう。

○茎の切り方

茎は斜めに鋭く切る。カットした断面積をより広くして、水を吸い上げやすくするという意味もありますが、茎をしっかりと固定するという役割もあります。

○吸水性フォームに何度も茎を押し直さない。一度押したら動かさない。



Let's tryアレンジメント

基本の丸いデザイン（ドーム）



以上今回は主に花のアレンジメントをするにあたっての留意点の紹介でしたが、次回は形態と構成についての紹介を予定しております。

夏の花

(花総合センターの植物紹介カードから)

富山県花総合センター（砺波市）では、センター内に植栽されているほぼすべての植物（120科、417属の約1,200種類）を写真で紹介する800枚の「植物紹介カード」を整備しました。

No.115 クリサンテムム・パルテニウム「園芸品種」

和名：ナツシロギク 流通名：マトリカリア(フイバーヒュー)
英名：feverfew 中国名：小白菊

キク属 キク科

学名 *Chrysanthemum parthenium* 'cv'
(クリサンテムム・パルテニウム 'cv') (= *Matricaria parthenium*)

園芸分類 多年草

園芸界では *Matricaria* であつかうことが多い。西アジア、バルカン半島原産。高さ30～80cm。よく分枝する。開花は6～7月。頭花は径13～22mm。日本へは明治時代の渡来。園芸品種多数。花壇や鉢花に用いられる。

見ごろ 

鑑賞できる場所 **イングリッシュガーデン風花壇**



(日本花名鑑①～③; アポック社、園芸植物大辞典; 小学館 の記載を参考に作成)

「植物紹介カード」の見本

カードは、原産地や植物の特徴、園芸場面における利用法などが端的にわかるようになっており、植物名や和名、別名、流通名などは五十音順で検索できるようにしてあります。

4月から展示ホールにこれらのカードの閲覧コーナーを設け、常時利用していただくとともに、見ごろを迎えた植物の紹介カードを随時玄関入り口の掲示板に展示して鑑賞に便利ようにいたしました。

今回は、花総合センターで見られる6月～8月に咲く花の中からいくつか紹介します。



フレンチラベンダー



ハンカチノキ (ハンカチツリー)



ケムリノキ (スモークツリー)



エゾミソハギ



アジサイ “墨田の花火”

いつでも、どこでも花が見ることができる地区をめざして

入善町 柗山地区頭取 **前田 幹夫**



グリーンキーパー就任以前から、壮年会の行事として、地区の公民館前に花壇を作り、花壇の管理など、地域の緑化活動に取り組んでいました。約30年前に、ある企業から不要になった木箱（プランターのサイズ）を50個ほど譲り受ける機会がありましたので、プランターとして各世帯に配布することを計画しました。その際、地区の頭取を通じて、花を譲り受けたことが縁となりまして、グリーンキーパー制度の設立と同時にグリーンキーパーになりました。

平成12年1月からは、頭取に就任しましたが、就任当時は、頭取と各グリーンキーパーのつながりが希薄でした。そこで、4年前に柗山公民館が改築された際に、新設された花壇の管理を依頼されました。花苗の定植や月1回の草取り、水やり当番など、地

区の頭取とグリーンキーパーが一体となって活動する拠点づくりに成功しました。また、一緒に活動する機会が増えたことにより、頭取とグリーンキーパーで共同してプラグ苗から花苗を育成し、公民館行事で地区住民に花苗を無償配布する事業を実施するなど、独自行事を実施することができ、地域への活動のPRもできました。

さらに、グループ内で新たに山野草の育成にも挑戦し、公民館での展示など、活動の幅が広がり、グリーンキーパーも増員できました。グリーンキーパーの協力もあり、柗山校下全体に緑化の活動が広がり、平成16年には、柗山新集落広場の用水改修に伴い用水の土手沿いの樹木が伐採されました。そこで、その緑化普及に地区総出でドウダンツツジ90本を植樹いたしました。

柗山を、いつでも、どこでも花が見ることができる地区にしたいと思います。

技術情報

いつまでも楽しめる宿根草の庭づくり(1)「微生物を増やす土作りとは」

職藝学院 常勤講師 **渡邊美保子**

宿根草の最大のおもしろさは、根っここの形の多様性です。ちじれ麺のような根っこ、放射状にどこまでも深く広がってゆく根っこなど、見ていて惚れ惚れします。もし、土の中をお見せすることができたならきっとこう思っていただけのはず。「根っこは楽しい！根っこはすてきだ！あーモグラになれたらなあ！」と。もうひとつ根を観察して気づくこと。宿根草の根は、一年草に比べて長く深いのです。そのため、地面から50～60cm位までは深く耕して土壌改良をすることをおすすめします。

宿根草の庭づくりは、植付け前の土作りで決まります。なぜなら、宿根草は一度植えられてしまうとその場所で何年も過ごすことになるからです。苗半作という言葉がありますが、宿根草は土半作です。土作りがうまくいけば、後はほうっておいても宿根草は元気に育ちます。

それでは、宿根草にとっていちばん理想的な土とは何でしょう？それは、土の中にたくさんの微生物がいる土です。微生物は、土の中の堆肥や腐葉土などの有機物を分解します。根っこは、微生物が分解してくれた有機物を養分として吸収することができるのです。といっても根っこはあそこに養分がある

ぞ、いざ出陣！とって養分のある場所をめがけて伸びてゆくわけではないのです。土の粒と粒のすきまを順番に通り返して伸びていった所にたまたま養分があれば幸運、なければ微生物が分解してくれた養分にめぐり会うまでもう1ミリもう1ミリと先端を伸ばします。ですから、たくさんの微生物が土の中にいれば永遠に養分をいただけるのです。そこで今回は追肥不要で微生物をどんどん増やす土作りの方法を伝授します。

微生物を集めるために必要なのは微生物の住みかたとエサです。この住みかになるのが木炭、そしてエサになるのが有機質の完熟堆肥、腐葉土などです。それともう一つ、ミネラルを多く含んだ海草の粉末です。微生物の大好物といってもいいでしょう。これを入れることにより微生物がどんどん増え、植物に必要な養分をつくりだしてくれるため、根っこがたくさん増えるのです。根っこが増えれば養分をより多く吸い上げることができますので、丈夫な宿根草に育つのです。

耕す土の量を6割に対して有機質3割、木炭1割を基準にします。必殺技の海草の粉末は、ご飯にたっぷりふりかけをかけるぐらいの量です。

今回は、いい加減で几帳面な土の耕し方のお話です。

19年度 富山県花のまちづくりコンクール実施計画

(応募先) 財団法人 花と緑の銀行

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-2425 FAX 076-465-5923 HP <http://www.bgtym.org/fgbank/>

| 推奨花壇認定審査(※) | 応募締切予定日 | 審査予定日 |
|-------------|----------|----------|
| 各部門共通 | 7月10日(火) | 7月20日(金) |

(※)最優秀賞を過去5年間に3回以上受賞するか、全国コンクールにおいて入賞するなど、継続して成績が優秀と認められる花壇

| コンクール部門名 | 応募締切 | 審査予定日 |
|--------------|----------|--------------------------|
| 花の道の部 | 7月27日(金) | 8月6日(月)～8月7日(火) |
| 学校花壇の部 | 7月20日(金) | 7月30日(月)～7月31日(火) |
| 幼稚園・保育所花壇の部 | 7月20日(金) | 8月2日(木)～8月3日(金) |
| 一般花壇の部 | 7月27日(金) | 8月9日(木)～8月10日(金) |
| 個人花壇の部 | 7月10日(火) | 一次書類審査7月13日、現地審査7月27日(金) |
| 花と緑のポスター原画の部 | 9月上旬 | 9月中旬 |
| 花と緑の標語の部 | 9月上旬 | 9月下旬 |

第17回(2007年)全国花のまちづくりコンクール募集の御案内

1 応募方法

応募は本人が直接申し込む方法と、推薦する第三者が申し込む方法があります。

応募の受付期間は、平成19年6月11日(月)～7月13日(金)です。

2 窓口

応募者および推薦者は、直接花のまちづくりコンクール推進協議会事務局に参加または推薦の申し込みをして下さい。

事務局 財団法人日本花の会

〒107-8414 東京都港区赤坂2-3-6 コマツビル

花のまちづくりコンクール推進協議会事務局あて

TEL 03(3584)6531 FAX 03(3584)7695

応募書類は下記ホームページよりダウンロード出来ます。

<http://www.hananokai.or.jp>

3 応募者

各部門において単独または連名で応募することが可能です。

4 審査部門

市町村部門(市町村合併前の単位でも可) 住民と行政との連携、施策、長期計画、活動

団体部門 対象：花と緑のグループ、幼稚園・学校 場所：街路・道路、公園・広場

個人部門 対象：家庭でのとり組み

場所：道路沿いの塀、生け垣や庭、バルコニー

企業部門 対象：事業主や従業員のとり組み

場所：商工業施設、公共性の高い施設

5 主なスケジュール

第1次審査(書類審査) 8月8日(水)、現地審査8月20日(月)～8月31日(金)

第2次審査(最終選考) 9月6日(木)、審査結果の発表9月28日(金)

表彰式10月26日(金) 於：東京都港区虎ノ門 虎ノ門パストラル

6 その他

昨年度はこのコンクールの市町村部門で氷見市が農林水産大臣賞を受賞しています。今年度も県内の団体・グループ、学校の皆さんの応募を期待しています。

表紙・裏表紙写真提供：名畑清信(花総合センター部長)

表紙「シロバナタニウツギ」：本県で極まれに見られるタニウツギの生態種

裏表紙「タニウツギ」：本県の丘陵に普通に見られ、5月の山野をピンク色に染める。



タニウツギ／富山市八尾町

花と緑の銀行だより 163号

発行日 平成19年5月

編集発行 財団法人 花と緑の銀行

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-2425

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org>

富山県花総合センター

〒939-1383 富山県砺波市高道46-3

TEL 0763-32-1187

FAX 0763-32-1219

ホームページアドレス <http://WWW.pref.toyama.jp/branches/1692/1692.htm>

県民公園頼成の森

〒939-1431 富山県砺波市頼成156

TEL 0763-37-1540

FAX 0763-37-1450

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/ranjyounomori/>

